

SAKIGAKE

D-EGGS PROJECT

by HIROSHIMA SANDBOX

A PLACE THAT ENABLES TRIAL-AND- ERROR
OVER AGAIN LIKE A "SANDBOX",
WHERE YOU CAN MAKE SOMETHING THEN
FLATTEN IT OUT, AND REPEAT GROUP CREATIONS.

プロジェクト 広島から世界へ 背景 よりよい未来に向けたイノベーションを生む

広島県が令和2年度から3年度にかけて、コロナ禍で顕在化した社会課題を解決するアイデアの実現に向けて30件の実証実験を支援した「D-EGGS PROJECT」。そのうち、さらなる社会実装に向けた事業開発を進める上で、障壁となる規制の緩和やルールメイク(※1)が必要なものがありました。

それらの障壁に対して、「先駆け」で挑戦するスタートアップ企業を令和4年度から、「サキガケプロジェクト」により支援しています。

サキガケプロジェクトは、事業性が未立証なスタートアップを対象に、ユースケース検証と法規制等の事業上の障壁解決に自治体主導で取り組む、他に類を見ない施策です。

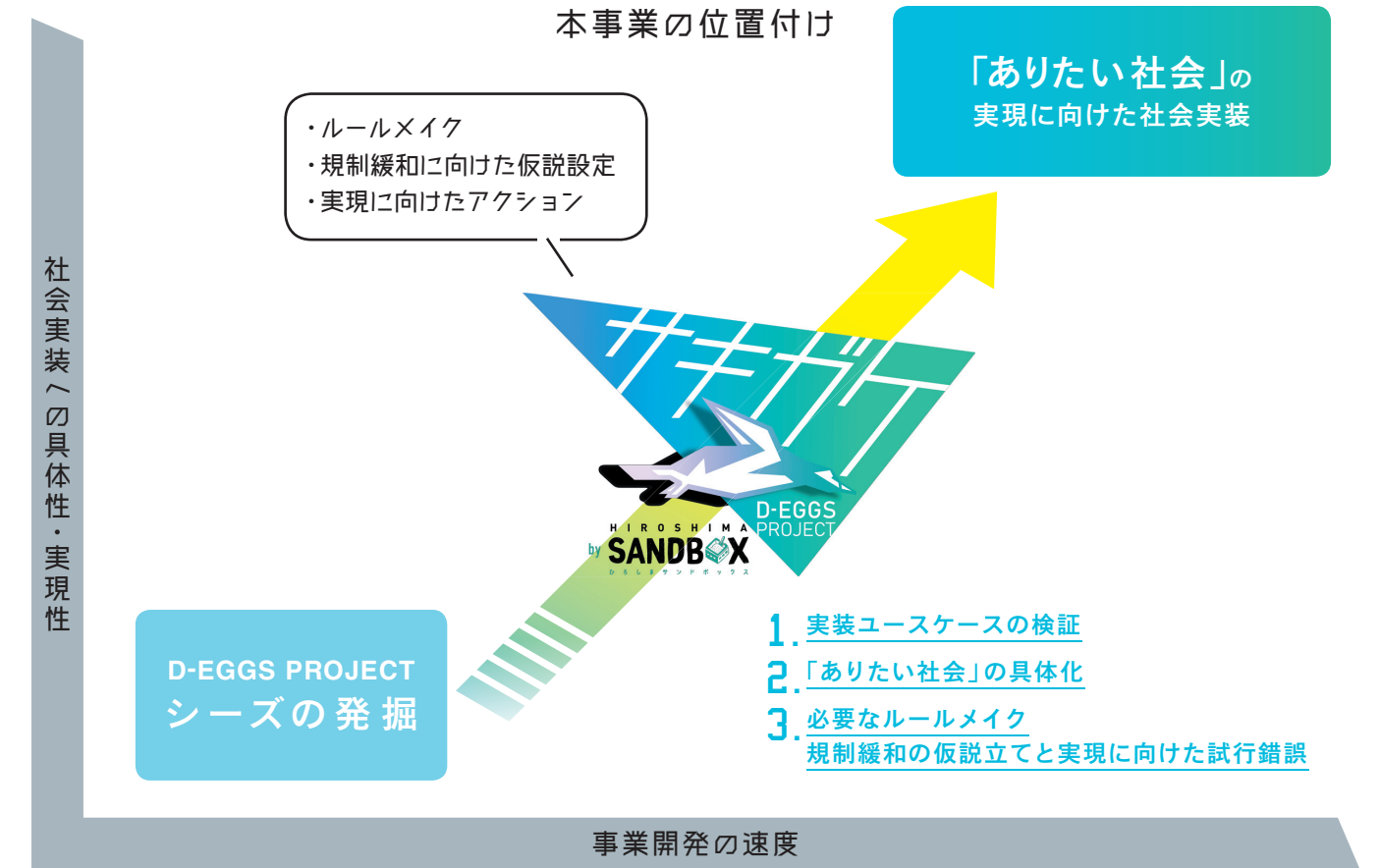
この冊子では、令和5年度・6年度にサキガケプロジェクトに採択された4社による実証の成果をまとめています。

(※1)「ルールメイク」とは、主に次の2点、もしくはそれに類する取組を指すものです
●行政の政省令、自治体の条例、行政による法解釈、運用基準を定める通達など
●民間企業による自主規制、標準ルールなど
法的拘束力の有無を問わず、規範の形成・変更・維持を目指すような取組



プロジェクト 狙い

前例のないビジネスの社会実装に向けた事業性の検証や、社会実装の障壁となる規制の緩和、新たなルールメイクへの試行が必要な事業を対象に、広島県を「試行錯誤の場」として新市場の開拓に取り組みます。



対象テーマ

次のテーマにおいて、イノベーションの社会実装を模索し、ルールメイクや規制緩和へのトライアルを通じて、さまざまなプレイヤーが持続的に挑戦・活躍できる広島県を目指します。令和5年度・6年度に採択された4社とともに、令和4年度に採択された5社についても、取組テーマごとに企業名を掲載しています。※令和4年度採択＝黒文字、令和5年度・6年度採択＝青文字

<p>交通・物流の自動化</p> <p>(株)エイトノット 自律航行船の開発・実装</p> <p>LOMBY (株) 商用目的の自動配送ロボットの公道走行</p>	<p>県民の健康増進</p> <p>(株)MITAS Medical スマホ接続型デバイスによるオンライン眼科診療</p> <p>(株)ユーリア スマホアプリでAI診断する尿検査キット</p> <p>01 (株)ビーライズ 医療教育用症例・診察データプラットフォームの開発</p>	<p>スマート住インフラ</p> <p>02 セレンディクス(株) 3Dプリンター住宅による低コスト住宅の建築</p> <p>03 (株)Nocnum IoT水質センサーを用いた浄化槽遠隔監視システムの開発・実装</p>	<p>農地の活用促進</p> <p>サグリ(株) 衛星データ×AIの農地情報管理システムによる農地流動化</p> <p>クリーン・エネルギー</p> <p>04 (株) Blossom Energy 黒鉛蓄熱システムを用いた産業の熱の脱炭素化</p>
---	--	---	---